川の子ども新聞

●ポトムの楽校〈第７回〉

Q&A・クロスワードパズル

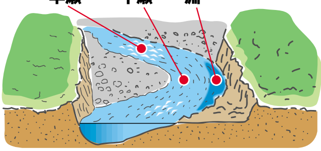
どうしてもわからなくて、どうしても知りたいこと、あるんだけど…教えてポトムくん！

Q　「一級河川　○○川」というひょうしきを見ました。この「一級」ってなんのこと？

A　川には「一級河川」や「二級河川」というよび方がある。といっても、一級のほうがエライ、というわけじゃないんだ。これは「河川法」という法律できめられているもので、**一級河川は、とくに大きな川で、たくさんの人たちの生活にかかわるもの…ということで国が指定し、国と都道府県とで分担して管理しているんだ。**小さな川でも、一級河川に流れこむ川なら、それもやはり一級河川になるんだ。**二級河川は、おもに地域の生活にかかわるもので、都道府県が指定して管理している。**この2つのほかに、市町村が管理する川もあるんだよ。ちなみに、一級河川の数は、利根川水系など、水系（一級水系）で数えると日本全国で109。利根川や烏川、碓氷川など、川の数では、なんと、約14000もあるんだ。

Q　川の「せ」と「ふち」ってなんですか？

A　川には、あさいところ、ふかいところがある。あさくて、だいたい流れのはやいところを「瀬」という。そして、ふかくて、だいたい流れのゆるやかなところを「淵」というんだ。さらに、瀬には、すこしはばがひろくて、流れのおそい「平瀬」と、はばがせまくて、流れのはやい「早瀬」がある。それから、淵のなかでも、流れがとくにしずかで、よどんでいるところを「瀞」というよ。川にすむさかなたちにとって、あさい瀬は虫（水生昆虫）を食べるエサ場になったり、たまごをうむ場所になる。いっぽう、ふかい淵は、さかなたちが休んだり、ねむったり、それから逃げこむ場所にもなる。だから、さかなたちがすめるよう、瀬と淵をたいせつにした川づくりがおこなわれているところもあるんだよ。



クロスワードパズル

【タテのカギ】

1　水鳥のマガモを家畜にしたもの。童話『みにくい○○○の子』
2　この河川は国で管理する（このページを見て！）
3　4ページと5ページのまんなかにあるもの。英語で「マップ」
5　渡良瀬遊水地は栃木・埼玉・茨城とこの県にまたがる（2ページを見て！）
7　あつまること。「集う」と書くよ
9　アユはなわばりをあらそって○○○する
10　小さな子どもは「さかな」のことをこうよぶ
11　川には「せ」と○○がある（このページを見て！）

【ヨコのカギ】

2　前橋公園親水ゾーンの水制工は自然に近い「○○積み」（5ページを見て！）
4　ヨシ原に「きれいな水」の○○○（3ページを見て！）
5　天気が悪いことを「○○ついた空もよう」などという
6　首の長い動物
7　6月ごろの雨の多い時期。漢字で「梅雨」
8　グーはパーに…
10　二級河川はここが管理する（このページを見て！）
12　渡良瀬遊水地にあるウォッチングタワー。タワーを日本語でいうと…
13　らんかんのない○○○橋（7ページを見て！）

【答え】…二重わくの中の字をＡＢＣ順にならべてね。それが答えだ。

1	■	2		■	3
4 ひ	E		■	5	F
	■	6 B			■
■	7 つ	A	■	8	9
10	C		11	D	ん
12		■	13		

正解者には抽選で図書券をプレゼント！

答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・学校名・学年・電話番号・答え（　　　）を明記のうえ、メール・ファクス・はがきのいずれかで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書券（千円分）をプレゼントします！

また、この「川の子ども新聞」を読んだ感想（いちばんおもしろかった記事・おもしろくなかった記事）・意見・質問・取り上げてほしい記事なども送ってね。

感想や意見などを送ってくれた人にはオリジナルグッズをプレゼントします。

○あてさき
〒371－8666　前橋市古市町1－50－21　上毛新聞社広告局企画部「川の子ども新聞・プレゼント」係
○ファクス
027－254－9904
○メール
http://www.raijin.com/kawa にアクセスして、応募フォームから送信してね。（携帯電話からもアクセスできます）
○しめきり
2004年4月10日（土）

■前回（冬号）のこたえ

「めぐるみず」

1 な	■	2 み D	3 な	か	4 み
5 が	6 り	■	が	■	ず E
7 し	ゆ	8 す	い	9 こ	う
■	10 う	き	■	11 う	み
12 こ	ぐ B	■	13 う	ず	■
■	14 う	め A	■	15 い	る C

たくさんのご応募ありがとうございました。

●利根川ダム資料館からのお知らせ

「石ころアート」と「木のストラップ」の体験コーナーができたよ

お部屋のインテリアに、また携帯電話のストラップに、自然のやさしさがあふれる世界でたった一つのものができるよ。どんどん体験してね。

●利根川ダム統合管理事務所からのお知らせ

メールマガジン「利根川の流れ」発刊！

利根川ダム統合管理事務所では、メールマガジン「利根川の流れ」をことしの2月から配信しています。利根川上流域やダムの情報、イベント情報などをお知らせしています。ぜひ登録して読んでください。もちろん購読は無料です。

登録方法
下記のホームページから登録していただくか、以下の方法でお願いします。
○Eメールの場合
tonegawadam@ktr.mlit.go.jpに『メールマガジン読者登録希望（携帯電話、PHSの場合はさらに（携帯）と記入）』と記入して送信してください。
○FAXの場合は027-255-3917に『メールマガジン読者登録希望』と『送付先のファクス番号』を記入して送信してください。

表紙写真のごあんない―

御正作公園（大泉町）

多目的広場を中心に自然の景観を生かした丘や滝、あずまやなどがあります。春には桜の名所として人気があります。

2004夏号 子ども記者募集！

きみも記者になってみよう！

「ぼくも（わたしも）記者をやってみたい！」。そんな小・中学生は、上のクロスワードパズルの応募といっしょに**「子ども記者参加希望」**と書いて送ってね。希望者が多いときは抽選します。「どんな取材をするのか」については、あとで本人に連絡するね。

〈次号の発行予定〉
「川の子ども新聞2004夏号」は、7月中旬に発行する予定です。

「川の子ども新聞」編集委員会
群馬県小学校中学校教育研究会小学校理科部会
前橋市立嶺小学校教諭　塩澤巻浩
群馬県小学校中学校教育研究会小学校社会科部会
前橋市立二之宮小学校教諭　薊　隆志
NPOぐんま代表　熊倉浩靖
民俗学研究者　板橋春夫
国土交通省利根川ダム統合管理事務所長　石島　威